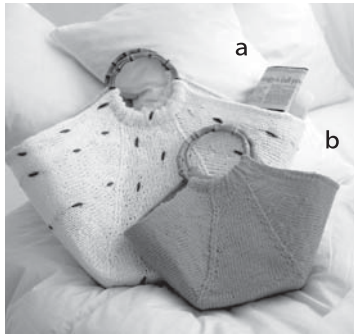


09-b.ハードバスケット



●用意する毛糸(商品番号一色番号/商品名/数量)
Z483-02/HEAT+(ヒートプラス)(40gコーン巻)/135g

●使用針・用具
2本棒針 12号、カギ針9/0号
持ち手…直径13cm竹製、厚紙7cm×17cm

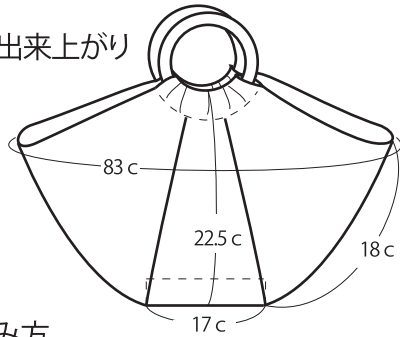
●出来上り寸法
編み図参照

●ゲージ(10cm平方)
メリヤス編み 18目×23.5段(スチーム後)
メリヤス編み 16目×20段(スチーム前)

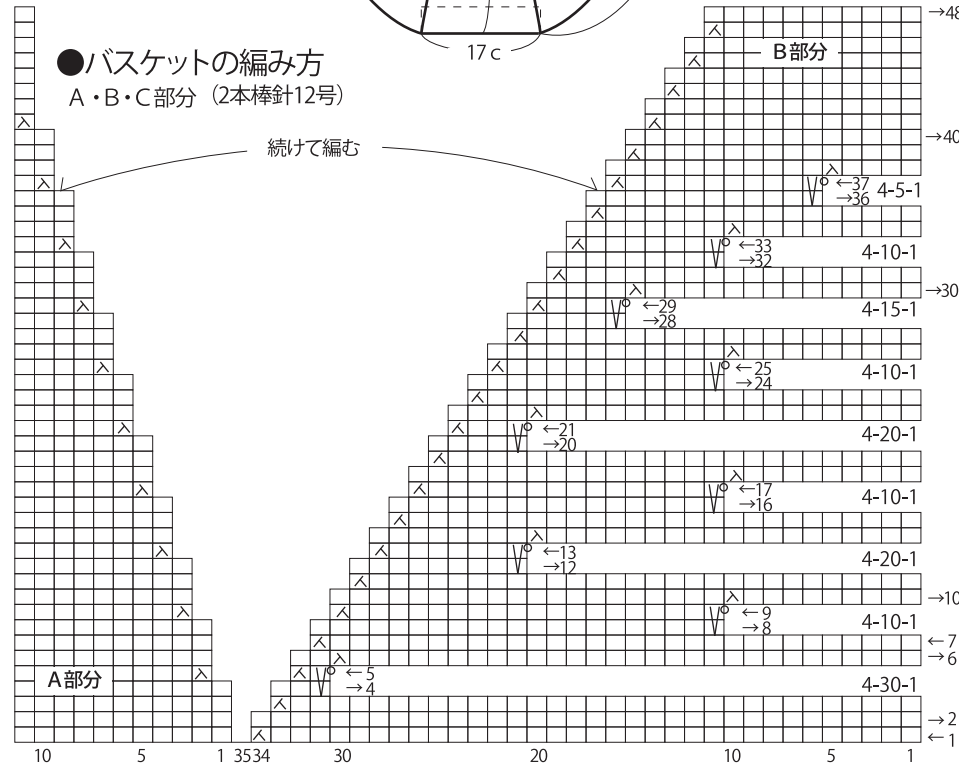
●編み方ポイント

バスケット…別鎖の裏山を拾う作り目を作り、メリヤス編みで底、マチから編みます。A部分は両脇で1目立てる減目をし、B・C部分は1目立てる減目と引き返し編みで編みます。A・B・C部分は続けて編みます。引き続きD部分を編み、ゆるめに伏せ止めをします。別鎖を解いて目を拾い反対側も同じように編みます。まとめ…B・C部分とマチの脇の1目中にカギ針で引き抜きを編みます。持ち手をD部分にはさみ、図のようにD部分の1段めにまつり付けます。
スチーム…底のサイズの厚紙(段ボール紙)を内側にあて、外側からスチームをあてます。底の形に糸が固まってからA・B・C部分の内側からスチームをかけます。持ち手のD部分も形を整えて両側にスチームをかけます。
※すべて2本どりで編みます。
※スチームをかけると糸は縮んで固まります。部分によって縮み方が違う場合がありますが型を整えてスチームをかけて下さい。スチームで火傷をしないように気を付けて下さい。

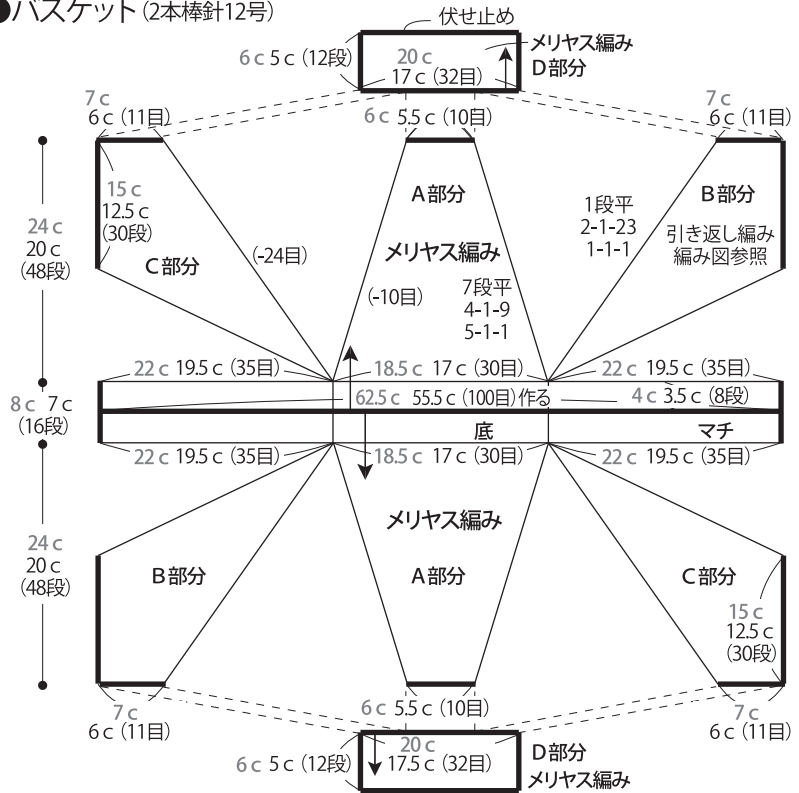
●出来上がり



●バスケットの編み方 A・B・C部分 (2本棒針12号)



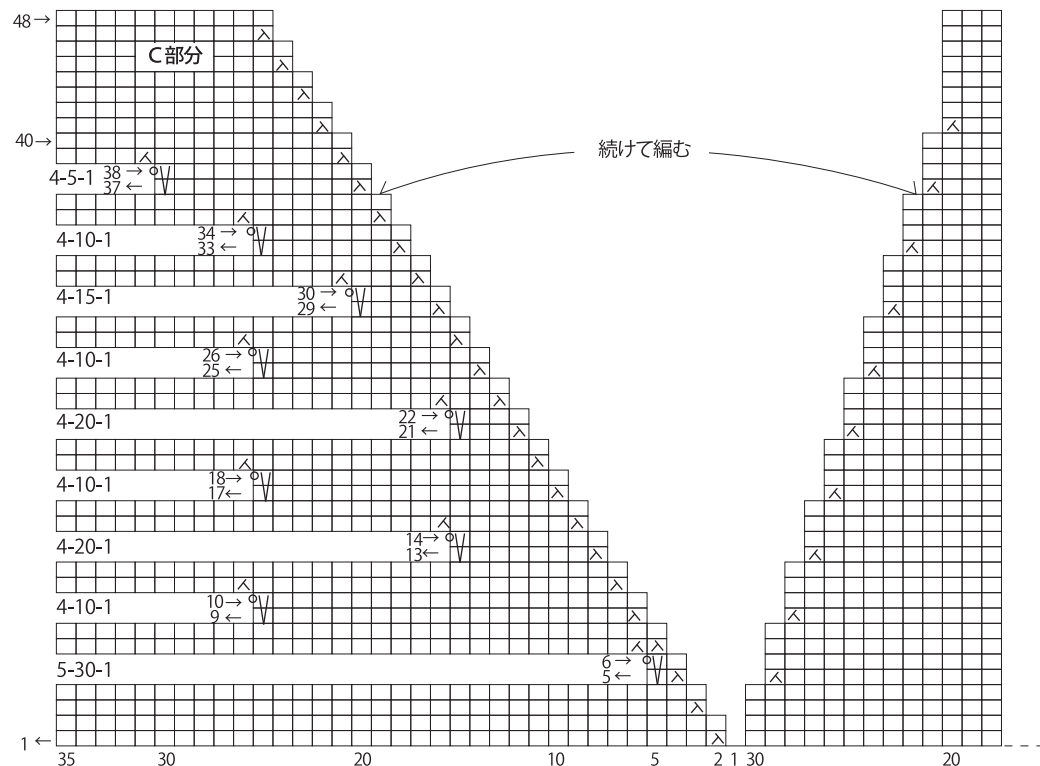
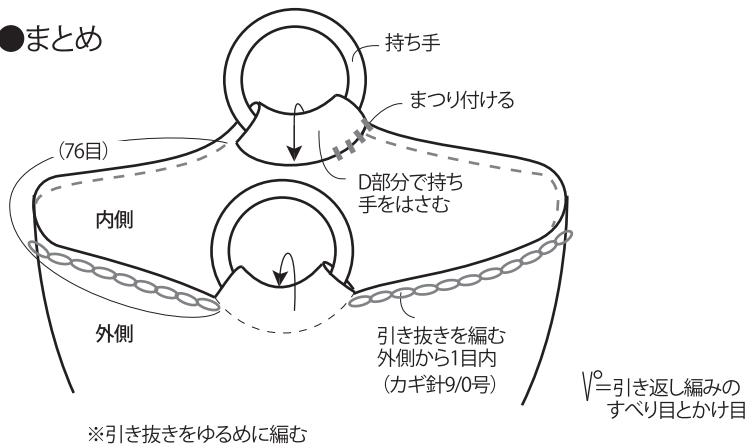
●バスケット (2本棒針12号)



※スチーム後のcmは部分によって縮み方が異なり違いがあります。HEAT+(ヒートプラス)の固め方を参考にして下さい。

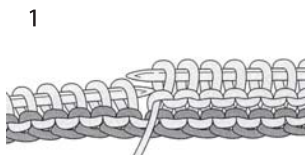
— = スチーム前
— = スチーム後

●まとめ



【右側】

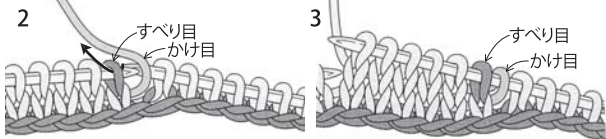
(裏から編む段)



左針に引き返し編み分を残します。

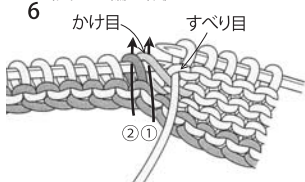
●ハードバスケットの引き返し編み

(表から編む段)

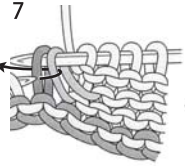


編み地を持ち替えて、糸が向こう側に行くようかけ目をし、左針の1目をすべらせて(すべり目)右針に移します。 次の目からは表目で編みます。

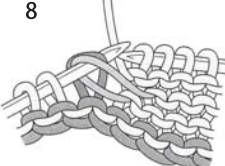
(裏から編む段)



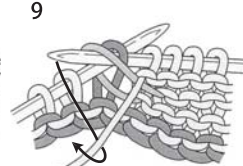
引き返し編みをしたところの2目を入れ替えます。 ①・②の順に右針に移します。



右針に移した2目に矢印のように左針を入れて戻します。



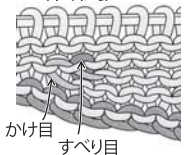
2目を左針に戻したところです。



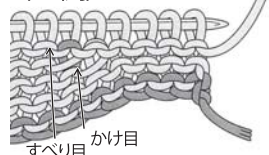
一緒に裏目で編み、そのまま編み進めます。

裏から見た出来上がり

(右側)



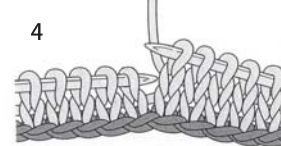
(左側)



すべり目とかけ目です。かけ目部分は裏側に出来ます。

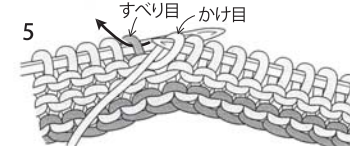
【左側】

(表から編む段)



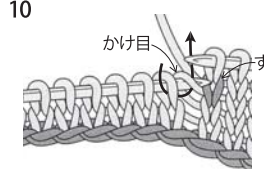
左針に引き返し編み分を残します。

(裏から編む段)

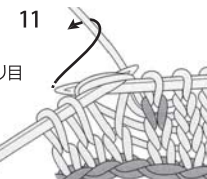


編み地を持ち替えて、糸が手前になるようかけ目をし、左針の1目をすべらせて(すべり目)右針に移します。 続けて裏目で編みます。

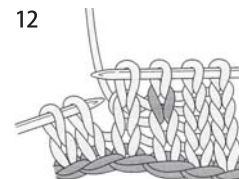
(表から編む段)



編み地を持ち替えて編み、左側の引き返し編みをしたすべり目を編みます。



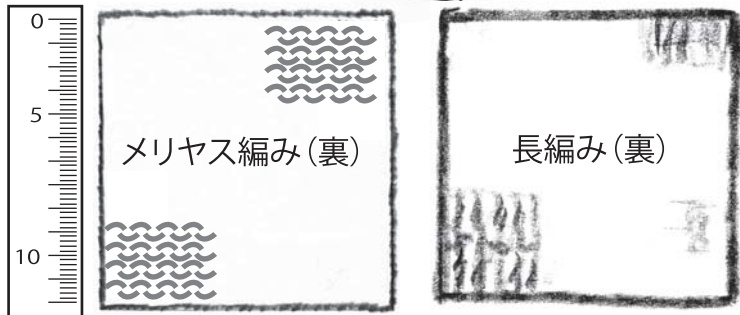
かけ目と次の目を一緒に編みます。



編んだところです。 1~11をくり返します。

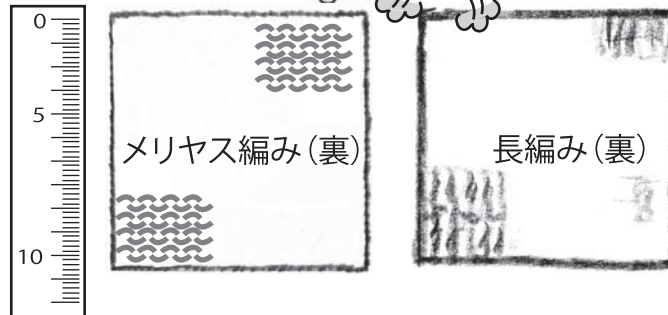
HEAT + (ヒートプラス)の固め方(アイロンのかけ方)

●編み地にアイロンをドライでかかれます。
(スチームは出しません。)



平らな編み地はまっすぐに置きアイロンで整えます。
そろっていない時は編み地を引っ張れば直せます。
※アイロンの温度は中でかけます。

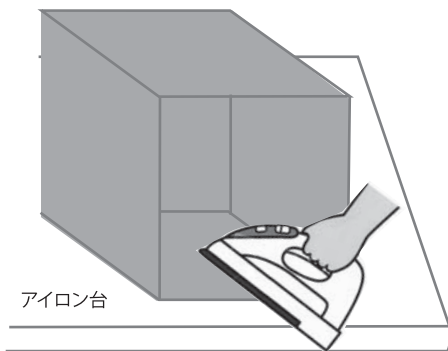
●アイロンを少し浮かしてスチームをしっかりとかけます。



編み地はこれでしっかりと固まり、1割弱縮みます。
(縮み具合は編み目、模様で異なります。)

※編み地の硬さ加減はスチームアイロンのかけ方で調節してください。
スチームの出る温度はアイロンの設定で中～高と異なります。

●四角形や丸い物のアイロンのかけ方



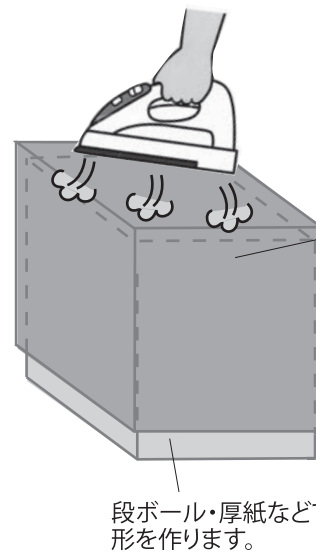
アイロン台

平らな部分でかけられる所のみ、アイロンで整えます。
作品により最初からスチームを出してかける場合もあります。



アイロン台

※アイロンをかける場合、タオル等の毛羽だった布は使わない様になります。
(収縮率が弱くなったり、毛羽が付く場合があります。)



段ボール・厚紙などで形を作ります。

かぶせてスチームアイロンをしっかりとかけます。



ボール等の丸い物(アイロンの熱に強い物)

★ゲージは編み手により異なります。ゲージが合わない場合は、針の号数を変えて編んでください。又はゲージを取り直して編んでください。